

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1987 1・2

役員・支部長・委員長合同会議

開催日時 61. 12. 18. 2:00～5:00 P M
場 所 建築家会館 2階 会議室
出席者 渡辺理事長
泉 修二 宇賀 敏夫 中川 千年
森谷 延周 山内 陸平 三輪 正弘
中村 圭介 (以上役員)
栢原 秀榮 幸重 篤典 林 寅正
(以上支部長)
吉良ヒロノブ 後藤 宣夫 田辺 麗子
小坂希八郎 山本 棟子 秋山 修治
(以上委員長)
山品 元(事務局)＜順不同、敬称略＞

討議の概要記録

Ⅰ 渡辺理事長より会議の主旨及所信表明があり、以下の項目につき重点説明がなされた。

- ① 国際化に対応した国際委員会の活動や I F I 会員作品集出版特別委員会の事業
- ② 来たるべき J I D 創立30周年事業への布石
- ③ 会員の拡充の方策

Ⅱ 61・第4回理事会(61. 11. 28開催)提出の各委員会メモの読み上げを事務局長が行ない、下記の各委員長により若干の補足がなされた。

総務(秋山)、 渉外(山本)、 教育(田辺)

目 次

●役員・支部長・委員長合同会議	1
●1987新春交礼会報告	3
●61・第4回理事会議事録	4
●61・第5回理事会議事録	7
●委員会の動き	10
●インテリア設計関係資格 (仮称インテリアプランナー)の官報告示出る	12
●会員の消息	14
●賛助会員ニュース	15
●新入会員の紹介	16
●事務局短信	22

事業（小坂）， 国際（後藤）， 広報（吉良）

Ⅲ 下記の3支部長による事業概況の説明があった。

- 関西（栢原） — 見学，研修，展示の各委員会について。
- 九州（幸重） — 作品展企画「マイデザイン・マイワーク」展について。
- 中部（林） — セミナー，研究会および1989世界デザイン会議の前行事の数々について。

Ⅳ 61年度下期～62年度～63年度に予想される事業スケジュールについて事務局メモを事務局長が簡単に説明。これに渡辺理事長が「ニューオフィス推進委員会」構想について補足説明。

Ⅴ 委員会別事業概況ならびに計画（項目列記）

① 総務委員会（秋山）

- 会員名簿，会員章，準会員対策
- 入会申込書々式，組織委と財務委
上記を森谷補足。理事長が以下をコメントした。
- 組織（案）61・第5回理事会に上程を希望する。
- 担当理事制との関連。
- 事業支部組織について。

② 広報委員会（吉良）

- 各委員会，事業支部との情報交流を目的として，全国会議を開催したい。
- 年4回発行に関し，予算との関連を重視している。
- ポートフォリオ特集号などを計画しているが，事業委員会での同種計画との調整が必要である。
上記を泉補足。

③ 国際委員会（後藤）

- IFI関係事項
IFIMAGAZINE，IFI教育委，IFI会員作品集出版
- アジア諸国との交流関係
「アジア国際インテリアデザイナー会議」構想とそれに関連した副次的各種イベントについて。
- 定期的会合の継続的開催
各委員会委員間の相互連絡の効果も狙いたい。
自由なクラブ的雰囲気を考えたい。
- 関東支部との連携による運営など。事務局長経由で関東支部（本日欠席）へ打診する。

④ 教育委員会（田辺）

- 「インテリアデザイン教育に関する調査アンケート」

61・12月に実施した。

- 中間報告は定量的集計になる。最終的には内容の分析を行い，将来のフォーム開催等に役立てたい。
- 調査結果をIFI教育委員会との接点にしたい。

⑤ 渉外委員会（山本）

- 賛助会員との懇談会は参加18名で，初回としては成果が大きかった。
- 銘青連（全国木材連合会青年部会）との懇談を行った。
- 渡辺理事長よりコメントあり。渉外委員会の事業は対象に難しさがあるが，一方で現状把握をしながら積極的に進めるべき性格のものである。事業対象については総務委員会での組織（案）づくりでも検討項目に入れて欲しい。
- また，山内意見として，本部事業委員と支部事業委員との併任や，JID全体の事業対象の洗い出しなどはどうか，との発言があった。

⑥ 事業委員会（小坂）

- 委員会の組織と事業の位置づけを明確化したい。
前委員会の事業（案）を引き継いだが，マトリックスの内容は専門委や特別委組織で検討する方がよい。
- 対外的事業 — インテリアデザインの啓蒙・発展
- 対内的事業 — 会員の技術・知識の向上
- 主要事業計画（案） — 目玉商品的項目
 - ㊦ インテリアプランナー講習
 - ㊧ ポートフォリオ発行
 - ㊨ JIDギャラリー
 - ㊩ 会員拡大のプロモーション
 - ㊪ 賛助会員へのプロモーション（アプローチ）
- いずれにしろ，組織，事業に関して根幹的事柄なので，総務委員会等と意見の交換を行う。

Ⅵ 事業支部別事業概況ならびに計画

① 関西事業支部（栢原）

研修セミナー開催。開催地区での事業支部の支援を要請。

〔予定：岡山(62.2月)，徳島(3月)，名古屋(4月)〕

② 九州事業支部（幸重）

会員の拡大に努める。

③ 中部事業支部（林）

- 最小限、年1回は会員の全員参加規模の事業を行いたい。
- 活性化のため、コミュニケーションを強化する。一例として支部独自のミニコミ通信など考えたい。
- 会員の拡充を計る。
- 1989「世界デザイン会議」名古屋が予定されており、関連団体との連携を深めたい。

Ⅳ 総括

- ① 渡辺理事長より次の総括が発言された。
 - 終始活発な発言があり、本合同会議は初めての試みながら有意義であった。
 - 協会事業の進展のための、いわば特効薬は「会員の拡充」が第一である。例えば会員数目標1,000人の協会規模を目指す、など。
 - インテリアプランナー（仮称）問題など、外的状況に配慮して、総務委員会に将来の組織立案を要請する。

また、三輪前理事長の組織の単純化と会務への全員の参加を求める意見も今後の課題としたい、と強調した。

- ② 事務局より次年度の事業計画(案)、予算(案)について協力要請がなされた。事務局より各委員長、各支部長に記入フォーマットを郵送、回送された資料を基に原案作成を事務局が行うこととなった。

- ③ 渡辺理事長より、本日の出席と討議に謝辞が述べられ議事を終了した。

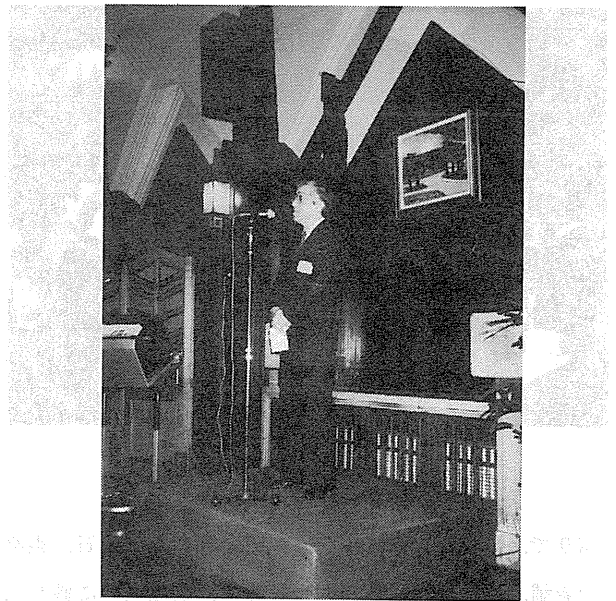
（以上）
——文中敬称略——

1987新春交礼会報告

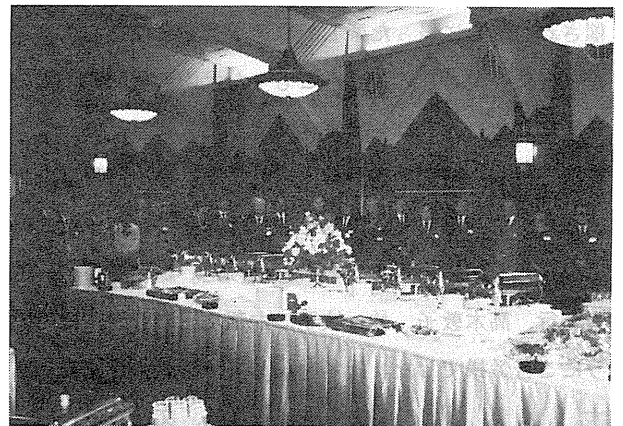
1月28日午後6時半、東京銀座は7丁目のビヤホール「ライオン銀座7丁目店」の6階ホールで、恒例の新春交例会が開催された。会場は総務委員増本敏治さんのご紹介によるもの。昭和9年建築（菅原栄蔵氏設計）という由緒あるもの。

インテリアデザインの鑑賞も兼ねて、という総務委員会の意図通り、参会者129名という盛会となった。「老舗発見」という、建築物資料も用意され皆一様に昭和初年の逸物を堪能した。

司会進行は森谷延周さん（総務担当理事）、秋山修治さん（総務委員長）を中心に行われた。



渡辺理事長の挨拶



古きよき時代のインテリアで



流石、ライオン……

渡辺理事長の年頭挨拶は、協会と内外の諸情勢、それに適確に対応する姿勢を明快に吐露したものとなった。来賓を代表して、通産省検査デザイン課森田守デザイン奨励班長が祝辞を述べ、協会への期待を話された。

午後7時頃から会場は一見立錫の余地のない程の盛会



懐しい顔の人も……

ぶりで、参会者大いに親交、交流を深めた。流石、銀座の老舗、飲物も、ご馳走も大好評で、会は大いに盛り上がった。恒例により新入会員や地方支部よりの参会者のご紹介も行われた。後半、呼びもののゲーム「ビンゴ」が催され、童心に帰った楽しい歓声があちらこちらで挙った。賛助会員各社の、心のこもった沢山の景品に、大物を手にした当選者はニコニコ顔でした。終盤、カラオケも飛び出し、時間の経つのを忘れる程。川上副理事長の閉会の辞で開幕した。定刻を過ぎること半刻、午後9時に賑やかな拍手のうちに散会となった。総務委員の、田中聡行、高木敦子、林口峯子、古賀文三の皆様、ほんとうにご苦労様でした。氏名を記して、感謝の意を表します。（文中一部敬称略、文責 事務局）

61・第4回理事会議事録

1. 日 時 昭和61年11月28日(金) 11:00~3:00 PM
2. 場 所 愛知県産業貿易館本館 B1F 第1会議室
(名古屋市中区丸の内3-1-6)
3. 出席者 (別掲の通り)
4. 議 題

I. 議 案

第1号議案 協会事業の推進について

第2号 “ ” IFFT 1987(東京国際家具見本市)

対応について

第3号 “ ” 予備金支出承認について

第4号 “ ” 1986 JID 協会賞について

第5号 “ ” 人事承認について

第6号 “ ” 協賛名義承認について

第7号 “ ” 入会関係承認について

第8号議案 議事録署名人選任について

5. 報告事項(別紙に記録)

6. はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり。報告事項より審議に入る。これに先立ち山品事務局長より「理事総数15名中、理事15名(本人出席13名、委任状2名)で、本理事会は成立した」旨、定数報告がなされた。

理事長より今回の名古屋開催につき尽力された宇賀理事及び林寅正支部長に感謝が述べられ、同席した林氏の紹介を併せ行った。

第1号議案 協会事業の推進について

議長は各委員会、各事業支部の事業につき、現在の推進状況につき簡潔に報告を求めた。以下、報告発言順。

① 選考委員会(川上信二委員長)

A, 協会賞については第4号議案にて審議

B, 野口記念賞

公募範囲の拡大などの意見もあるが、本年度は従来通りの内容とスケジュールで実施している。

ポスターは若干力こぶを入れ、現在、学校・報道関係等にPR中である。

C, 国井喜太郎産業工芸賞

委員会(61.11.21開催)で下記(2件)を決定、主催者である工芸財団に候補推薦するべく準備中。

・松本政雄殿(名誉会員)

・新居 猛殿(関西事業支部・正会員)

議長は上記について意見を求めた。理事会はこれを了承した。

② 総務委員会(秋山修治委員長) 森谷担当理事

A, 入会申込書(正・準・賛助会員)及び会員証の改正(案)

12月中旬の委員会に向けて(案)を準備中である。

B, 組織見直し(案)

次回理事会(62年1月下旬)に(案)を提出するべく検討中。

C, 新春交礼会

62年1月28日夕刻、東京開催を決定した。会費、招待者、盛会を期す(案)を企画中である。

D, 会員名簿(1987~88)年内発行をメドに事務局で準備中。

E, 協賛・後援名義の承認 ルールづくり

以上のうちCについては、渉外委員会、関東事業支部の協力を仰ぐこととした。Eについては、議長要望として簡潔な基本ルールにするよう指摘があった。

議長は上記各項目について意見を求めた。理事会はこれを了承した。

㊦ 渉外委員会（山本棟子委員長） 木村担当理事
事務局長より委員会資料を読みあげた。

A, 賛助会員へのアンケートを実施（61. 9. 8）, 79社中13社の回答を得た。主に交流, セミナー, 情報等を希望する内容である。

B, 「JID渉外委員会と賛助会員有志との懇談会」
61. 11. 13 東京で行った。委員会の他, 川上副理事長, 事務局長など11人, 賛助会員15人(社)が出席した。継続開催の意見が強い。

議長は上記について意見を求めた。理事会はこれを了承した。

㊧ 教育委員会（田辺麗子委員長） 長岡担当理事
前委員会の継続事業である。デザイン教育機関約100校にアンケート調査を実施すべく準備中である。
12月初旬に発送, 62年1月中旬に回収する。

議長より, 最終報告の前に, 中間集計などの形でも遅くない時期に報告できるよう努めて欲しい旨, 要望が出された。

議長は上記について意見を求めた。理事会はこれを了承した。

㊨ 事業委員会（小坂希八郎委員長） 山内担当理事
小坂希八郎, 中村隆一, 正副委員長の他に, 次の委員が決定した。海老沢宏, 嶺茂信, 藤川征輝の3会員。

「誰にでも開かれた協会づくり」を主眼に, 例えば, 全員のポートフォリオ, 協会のための常設ギャラリー（特に東京都心）確保など, 素案を検討中である。

議長は上記について意見を求め, 理事会はこれを了承した。

㊩ 国際委員会（後藤宜夫委員長） 大野担当理事
前委員会からの継続事業である「アジアとの交流を考える会」は毎回盛況の中に成果を挙げつつある。これを踏まえて今後は実際行動に移る予定である。

・会員の個人レベルでの国際的知人関係を, 国別

の協会レベルでのパイプづくりに役立てる。

・JICA, JETRO, JIDPO など, 既に国際交流を行ってきた団体の事業の実態を調査し, 今後JIDを含めたネットワークをどう考えて行くか, を検討する。

・定期的会合の便のため, クラブの如き, 皆で気軽に集まれる場所を確保する, などの意見がある。

議長は上記について意見を求めた。理事会はこれを了承した。

㊪ 広報委員会（吉良ヒロノブ委員長） 泉担当理事
A, 機関誌「インテリアデザイン」102号は, 関西事業支部所属の委員が主に担当し, 特集は「インテリアデザインのゆくえ」となっている。1月下旬発行の予定。

B, 同103号は5月下旬, 通常総会に合わせて発行したい。

C, 「データブック」の企画が以前あったものの諸般の事情で保留となった。

議長より, 前101号記事中の一部ミスプリント発生に関連して, 編集の部分外注をする場合, 発注先決定には慎重を期し, その後の管理も委員会のチェック機能を効果的に発揮して欲しい旨, 要請された。

㊫ I F I 会員作品集出版特別委員会（川上信二委員長） 三輪担当理事

A, 委員会を毎週1回の頻度で精力的に行ない, 初期のスケジュールで進行中である。

B, 11月10日, 作品募集メ切を行った。J I D 会員の応募状況は新規目標の30%程度で, 予想通りである。J I D の枠は外国会員の約3倍を確保している。

C, 国内における会員外デザイナーのノミネート分は35名内外である。

D, 海外の第一線デザイナーへも I F I 会員を中核に, 応募を積極的に呼びかけている。

議長は上記について意見を求めた。理事会はこれを了承した。

㊬ 資格制度対策委員会（中村圭介委員長）

A, 8月25日, 開催の委員会で, アンケート実施を決定し, 9月に実施した。10月20日に集計を行った。結果は理事会提出資料の通りとなっている。

B, かねてより予想されていた官報告示は, 今日現

在のところ告示を見ていない。スケジュールが遅れることが考えられる。

議長は上記について意見を求めた。

理事会としては、会員のしっかりした実情把握をキメ細かく行ったもの、と認識している。

建設省の考えている新しい資格認定事業についての対応を今後とも積極的に行ってゆくこととした。理事会はこれを了承した。

㊤ 新マップ専門委員会（長岡貞夫委員長）

A, 7月8日, 11月6日の2回にわたり, 発行元予定のトーソー出版（株）と懇談した。

B, J I Dとしては企画・監修の立場から掲載リストのチェックを行う予定である。

C, トーソー出版（株）持田編集長より「企画書」及び掲載リスト（案）が11月14日提出された。委員長, 事務局長間で検討の上, 11月17日付帯事項をつけて回答した。

D, 62年3月発行を, 出版社が希望しているので, 会員の中でその筋に明るい多数の方々から最適の人を抽出, 委員就任を急ぎ要請する予定。

議長は上記について意見を求めた。

外部との連携事業であるので, 既刊の「エリアマップ」や「年鑑」出版の例などを参考に, 協会内部資料など記録を残す方がよい, との発言があった。

理事会はこの方向で了承した。

㊤ 出版特別委員会（三宅正郎委員長）

渡辺理事長担当

あらためて発足した委員会である。

現在委員を打診中で, 委員決定次第, 年内にも委員会を開催の予定である。

上記について理事会は了承した。

第2号議案 IFFT 1987（東京国際家具見本市）対応について

前2回にわたり, 協会として支援して来た同見本市が, 来年62. 11. 18（水）～22（日）第5回目を迎える。かねてより, 協力の打診があり, その対応につき審議したい。

以上, 議長より資料により主旨説明があり, 意見を求めた。結果, 理事会は準備委員会の組織化の前段階として理事から木村理事を中心に従来の経験を踏まえ基本的事項を検討することとした。議長, これを諮り,

異議なく承認された。

第3号議案 予備金支出承認について

昭和61年度上期半ばで発足した資格制度対策委員会の事業経費に充当するため, とりあえず予備金費目より40万円を充当する案が事務局長より上程された。

議長はこれを諮った。異議なく承認された。

第4号議案 1986 J I D協会賞について

前年度の協会賞決定の折, 会員奨励賞の制度など, 選考委員会で話題になり, 懸案であった。11月21日の委員会で検討の結果, 協会賞の本来の主旨を踏襲することで, 本年度は従来通りとすることとなった。

以上, 川上信二選考委員長より経過説明があった。議長は同委員会の決定につき, 理事会に諮った。異議なく承認された。

第5号議案 人事承認について

昭和62～63年度選考委員（10名）の通信選挙のために, 選挙管理委員会を下記のように61. 10. 31 付で組織したので, 承認願いたい。

委員長 工藤 広忠

委員 宇塚 嘉寿 瀬尾 清 松下 澄雄
協田 正彦

（事務局）伊藤 公子 朝妻 昭子

議長これを諮り, 理事会は異議なく承認した。

第6号議案 協賛名義承認について

議長は次の5件について, 事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明を行ない, 同時に前例にならって実施した項目について報告した。

議長はこれを諮り, 理事会は異議なく承認した。

○ '87 旭川・国際デザインフォーラム

主催 '87 旭川・国際デザインフォーラム実行委員会（62.2.3 旭川）

○ 「J I D A 研究セミナー '86（Ⅱ）DESIGN FOR AMENITY」

主催 （社）日本インダストリアルデザイナー協会
（61.12.5 東京）

○ 第15回「'87 国際ホテル・レストランショー」ならびに「'87 ホテル・旅館・レストランシンポジウム」

主催 （社）日本能率協会
展示会 62.3.10～14
（シンポジウム 62.3.11～13 東京）

○ 第2回「'87 関西国際ホテル・レストランショー」ならびに

第2回 「'87関西ホテル・旅館・レストランシンポジウム」

主催 (社)日本能率協会

(展 示 会 62.4.21～24
シンポジウム 62.4.22～23 大阪)

。「国際デザインスラローム山形'87」

主催 国際デザインスラローム山形'87 実行委員会

(62.2.2～3 山形)

第7号議案 入会関係承認について

議長は、次の3件について事務局長に上程の主旨を説明させた。事務局長は資料にもとづき説明を行った。理事会はこれを諮り、いずれも異議なく承認した。

氏 名	種 別	保 証 推 薦 者
岸田哲二郎	正会員	渡辺 優・上田 幸正
檜崎 雄之	"	勝瀬 壮一・諸富 幸成
梶田 尚令	"	渡辺 優・秋山 修治

第8号議案 議事録署名人選について

議長は議事録署名人に川崎浩・中村圭介、両理事の選任を提案し、承認を諮った。異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会61・第4回理事会に関し、定款第28条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡辺 優 ㊟

議事録署名人 川崎 浩 ㊟

議事録署名人 中村 圭介 ㊟

61・第4回理事会出席者名

渡辺 優, 川上 信二, 中村 圭介, 川崎 浩 中川 千年, 樋口 治, 宇賀 敏夫, 長岡 貞夫 泉 修二, 山内 陸平, 大野美代子, 山品 元 森谷 延周 (以上理事) 林 寅正 (オブザーバー出席, 中部事業支部長) (以上本人出席)
理事総数15名中理事15名 (本人13名, 委任状2名)

(敬称略・順不同)

報告事項 (3件) (別紙)

④ 財政状況

事務局長より、61.11.25 現在高及び支払予定関係を中心に、資料にもとづき簡潔に報告した。

会費については、特に昇格勧告に関連し、本年は特に準会員に督促を急いでいる旨、報告された。

⑤ 在籍会員数

61・第3回理事会での入会承認を以て、会員数の合計は608人(社)となり、600の大会に入った。

内訳は以下の通り。事務局長より報告した。

(61.9.26 現在)

名 誉 会 員	27 人
正 "	451
準 "	51
賛 助 "	79 (社)
合 計	608 (人・社)

⑥ 会員名簿の広告協力について

理事及び会員の協力により、所期の目標額に達した旨、報告した。

以上、報告はいずれも了承された。

61・第5回理事会議事録

1. 日 時 昭和62年1月28日(金) 11:00～3:30 PM

2. 場 所 J A A 2階 会議室

東京都渋谷区神宮前2-3-16

建築家会館

3. 出席者 (別掲の通り)

4. 議 題

I, 議 案

第1号議案 昭和62年度総会準備について

第2号議案 除名対象者について

第3号議案 借入金の件

第4号議案 商施連人事(役員・代議員派遣承認)について

第5号議案 協賛・後援名義承認について

第6号議案 入退会関係承認について

第7号議案 会費免除対象承認について

第8号議案 議事録署名人選任について

5. 報告事項(別紙に記載)

6. はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり。報告事項より審議に入る。これに先立ち、山品事務局長より「理事総数15名中、理事15名(本人出席14名, 委任状1名)で本理事会は成立した旨、定数

報告がなされた。

第1号議案 昭和62年度総会準備について

議長は事務局長に、先に開催(61.12.18 東京)された、「役員・支部長・委員長合同会議」の記録要旨を読み上げるよう事務局長に求めた。

事務局長これを読み上げ、出席者は内容を了承した。次いで、事務局より「昭和61年度事業報告(案)」が提示され、事務局長がその内容骨子の説明を行った。出席者は大枠を了承した。また、各委員会・事業支部より提出の、「昭和62年度事業計画(案)」が上程され、内容について渡辺理事長をはじめ、樋口・中村・三輪・森谷・長岡・川崎の各理事より意見が述べられた。加えて、関東事業支部の事業活動の現状などが指摘され、今後の方策が協議された。

次に、総務委員会で練り上げ、事業委員会の意向を加味した「組織改訂素案」について、森谷担当理事から説明が行われた。結果、重要案件であり、細部にも亘る検討は、臨時理事会を開催して集中審議してはどうか、との提議が渡辺議長より出され、異議なく了承した。日時は62.3.6(金)午後とし、場所は東京で開催する。

また、予め、各理事から提案事項を徴して、これを森谷理事が整備したものを臨時理事会にかけることとした。

更に、山内事業担当理事が同時期に事業の基本構想を用意することになった。内容骨子は事前に理事宛回送する。

上記3月6日に先立ち、内容の交通整理を含め、事前に正副理事長、森谷、山内両理事、事務局長が東京で検討会議を開催する。

第2号議案 除名対象者について

第18回通常総会で、理事会に付託された下記会員の取り扱いに関し、定款第11条1項(1)及び(3)ならびに会員規定第12条により除名審議を行った。理事会は慎重審議の結果3氏の除名を決定した。

A, 除名対象者

正会員氏名	支 部
北市 信雄	中 部
小坂 浩永	関 東
寺本 雅光	九 州

また、かねてより会員規定第6条4項及び5項に基づいて準会員より正会員への資格変更に関し、定められた手続を行わなかった下記会員の準会員資格の削減を審議した。いずれも異議なく決定した。

B, 資格変更非手続者(資格消滅)

準会員氏名	支 部
丸山 幸雄	関 東
山下 捷治	関 西

なお、本件Aに関しては、昭和62年度通常総会で報告される。また、Bについては、同総会で定款第11条1項(3)に基づき決議された場合、除名される。以上、異議なく承認された。

第3号議案 借入金の件

報告事項にある通り、財政上、太陽神戸銀行青山支店より200万円の借入をしたい旨、審議に先立ち事務局長より発言があった。借入が実現した場合印刷費、支部事業費、管理費の一部の支払いに充当する。

借入時期は2/4、返済計画は3月末～7月末とし5ヶ月均等返済。6ヶ月目の8月末の最終回返済にて残額精算の予定。借入に当たっての手続は昭和59年度の前例通りとなろう。以上理事会はこれを承認した。

第4号議案 商施連人事(役員・代議員派遣承認)について

友好団体である(社)商業施設技術団体連合会(略称:商施連)への派遣人事について上程された。討議の結果役員については渡辺優・中村圭介(いずれも再任)の両会員を決定した。代議員については連合会のJ I D関係定員枠が1名増員したのに関連して、在京会員の中より人選を急ぐこととし、中村圭介氏に一任することを承認した。(連合会関係代議員5名、商業施設士会関係代議員1名)

第5号議案 協賛・後援名義承認について

協賛名義(3件)、後援名義(1件)

議長は下記4件について事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明を行い、同時に実施項目について報告した。

議長は本件について承認を諮った。いずれも異議なく承認された。

○第10回大阪産業デザインコンテスト

主催 大阪産業デザインコンテスト運営委員会
(62.2.19～21 大阪)

○創立20周年記念デザインコンペティション(後援)

主催 (社) 日本家具デザインセンター
(62.1.20 作品〆切 東京)

○国際デザイン・コンベンション'87

主催 (財) 国際デザイン交流協会
(62.2.26 大 阪)
(62.2.28 名古屋)

○'87 JAPAN SHOP 記念国際シンポジウム

主催 (財) 店舗システム協会
(62.3.25～26 東京)

第6号議案 入退会関係承認について

議長は、次の11件について事務局長に上程の主旨を説明させた。事務局長は資料に基づき説明を行った。理事会はこれを諮り、いずれも異議なく承認した。

入 会 (8 件)

氏 名	種 別	保 証 推 薦 者
小菅 澄男	(準→正)	原 好輝・山品 元
松田 康夫	(")	栃谷 賢一・宇賀 敏夫
宮嶋恵美子	(")	渡辺 力・山品 元
中川 千早	(正)	渡辺 優・大野美代子
石中 法文	(準→正)	小川 欣一・藤尾 栄徳
長澤 法子	(正)	渡辺 優・大野美代子
菊地 隆夫	(")	泉 修二・渡辺 輝男

社 名	種 別	紹 介 者
ボディソニック(株)	(賛助)	佐久間克己

退 会 (3 件)

氏 名	種 別	
竹澤 秀夫	(準)	
井口 竹喜	(")	
箴島 裕	(")	

なお、入会者、石中法文氏(九州支部)については中川理事が、また、長澤法子氏(在ニューヨーク市)については渡辺理事長が特に意見を述べ、理事会はこれを審議し、了承した。

第7号議案 会費免除対象承認について

議長は次の1件について事務局長に上程主旨の説明を求めた。事務局長は会員規定第8条(1)項の1に該当するものとして、説明した。理事会はこれを諮り、異議なく承認した。

古藤 司郎(正会員、関東支部)、在海外

(61年6月～12月の期間6ヶ月)

第8号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に樋口治・山品元、両理事の選任を提案し、承認を諮った。異議なく承認された。

(社) 日本インテリアデザイナー協会61・第5回理事会に関し、定款第28条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記するため議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡 辺 優 ㊟

議事録署名人 樋 口 治 ㊟

議事録署名人 山 品 元 ㊟

61・第5回理事会出席者名 (敬称略・順不同)

渡辺 優、川上 信二、中村 圭介、木村戦太郎
中川 千年、大野美代子、三輪 正弘、長岡 貞夫
樋口 治、川崎 浩、山品 元、山内 陸平
森谷 延周、泉 修二

理事総数15名中理事15名(本人14名、委任状1名)

報告事項(8 件)

(1) 官報告示

インテリアプランナー(仮称)に関連して、62.1.6付で、建設省関係の、「インテリア設計等に関する知識及び技能の審査証明事業認定規定」が告示された。

(2) 昭和61年度上期(61.4.1～9.30) 監査報告

榎田均、岡村実、両監事の代理として、山品事務局長より監査報告書が提出された。報告は了承された。

(3) 昭和62年新春交礼会出席予定状況

恒例の新春交礼会(62.1.28 東京)の出席予定は約120名である。盛会が予想される。

(4) 財政状況

事務局長より62.1.27 現在高及び支払予定関連事項が報告された。昨年末の入金状況は予想を下廻っている、資金計画は予断を許さない厳しい状況

にある。報告は了承された。

(5) 第19回通常総会までのスケジュール (案)

5月下旬に予定される次回総会までのスケジュール表が事務局より提出された。理事会は大枠を了承した。

(6) 入会申込書(新)及び大型会員章進行状況

森谷理事(総務担当)より、中間経過が、資料により報告された。渡辺議長よりコメントがあり、理事会は報告内容を了承した。

(7) 外部状況報告

大野理事(国際担当)より、1989年のデザイナーについての状況説明および世界デザイン会議(名古屋市)、世界デザイン博覧会(同)、ICSID'89 NAGOYA、など関連事業について報告され、理事会はこれを了承した。

(8) 雑件

情報ディレクター『イミダス』(東京・集英社刊)の記事に一部不明瞭な表現があったので、事務局長名で、編集者あて文書で修正方を申し入れ、その後の経過が報告された。理事会は了承した。

(以上)

委員会の動き

●教育委員会

ーインテリアデザイン教育に関する調査アンケートー

日時 昭和61年12月5日

場所 J I D

参加者 田辺、アルバイト

本年度新メンバーで始まった教育委員会は、58年度から顕案だったインテリア教育調査を継続することになりました。7月から9回の委員会を開き、昨年61機関(99校106機関のうち)からいただいた資料にもとづいて、カリキュラム等を含む具体的な調査項目作成に入りました。アンケートに答える側にとって内容や時期を検討した結果、12月5日に発送というスケジュールになりました。回収は62年1月18日。今年度中に何らかの分析結果報告を行う予定です。アンケート依頼先は、インテリアデザイン関連の科目をもつ、大学、短大、専修学校、その他139機関になりました。前年度資料の提供をいただいた学校に加え、今回はその後新設された学校が4割も

増え、新たに資料提供をお願いしました。

女子短期大学に新設学科が増えているのは、各種資格制度からでしょうか。インテリアデザインのアカデミックな教育と、大衆化のなかでこの1・2年の間に様変わりが起きているものと思われます。

アンケート依頼先は下記の学校です。

大 学

種別	大 学 名	学 部 名	科 名
国 立	東京芸術大学	美術学部	芸術学専門学群
	筑波大学	芸術学系	
	"	"	
	"	"	"
	京都工芸繊維大	工芸学部	意匠工芸学科
	"	"	住環境学科
	奈良女子大学	家政学部	住居学科
	山形大学	教育学部	美術科
	北海道教育大	"	
	千葉大学	工学部	工業意匠学科
	弘前大学	教育学部	美術科
	山形大学	"	美術科
	富山大学	"	美術科
	岡山大学	"	特設美術科
	新潟大学	教育学部	美術科
	埼玉大学	"	美術科
	鹿児島大学	"	美術科
公 立	宮城教育大学	"	
	静岡大学(62新)		
	神戸大学	工学部	環境計画学科
	熊本女子大学	生活科学部	生活環境学科
	金沢美術工芸大	美術工芸学部	産業美術学科
	京都市立芸術大	美術学部	デザイン科
	"	"	"
	愛知県立芸術大	"	美術科
	京都府立大学	生活科学部	住居学科
	大阪市立大学	"	生活学科
私 立	武蔵野美術大	造形学部	工芸工業デザイン学
	"	"	基礎デザイン学
	"	"	空間デザイン学
	大阪芸術大学	芸術学部	デザイン学科
	"	"	環境計画学科

種類	大学名	学部名	科名
私立	名古屋芸術大学	美術学部	デザイン学科
	東北工業大学	工学部	工業意匠学科
	日本大学	芸術学部	美術学科
	多摩美術大学	美術学部	デザイン科
	東海大学	教養学部	芸術学科
	共立女子大学	家政学部	生活美術学科
	日本大学	工学部	建築学科
	日本女子大学	家政学部	住居学科
	東京家政大学	"	服飾美術学科
	岐阜女子大学	"	住居学科
	九州産業大学	芸術学部	デザイン学科
	女子美術大学	"	産業デザイン学科
	東京造形大学	造形学部	デザイン科
	三島学園女子大学	家政学部	生活美術学科
	昭和女子大学	"	"
	玉川大学	文学部	芸術学科
	文化女子大学	家政学部	生活造形学科
	和光大学	人文学部	芸術学科
	京都精華大学	美術学部	デザイン学科
公立	道都大学	"	"
	"	"	建築学科
	別府大学	美学美術史学科	実技コース

短期大学

種類	大学名	学科名	専攻
国公立	高岡短期大学	産業工芸学科	
	福島県立会津大学	デザイン科	
	短分県立芸大	美術科	
	"	"	
私立	香川短期大学	家政学科	生活デザインコース
	夙川学院短期大学	美術科	美術科
	トキワ松学園女子短期大学	造形美術科	
	大垣女子短期大学	美術科	
	京都芸術短期大学	造形芸術学部	デザイン専攻
	大跡見学園短期大学	生活芸術科	
	九州造形短期大学	デザイン科	
	兵庫女子短期大学	美術デザイン学科	
	大東純心女子短期大学	美術科	
	短大		

種類	大学名	学部名	科名
私立	名古屋造形短期大学	家政学科	デザイン工芸専攻
	東海女子短期大学	美術学科	生活デザイン専攻
	嵯峨美術短期大学	美術学科	デザイン専攻
	大女子美術短期大学	造形科	生活デザイン教室 ディスプレイデザイン教室
	"	"	
	明石短期大学	デザイン美術科	
	宝仙学園短期大学	生活芸術科	
	大関西女子美術短期大学	デザイン美術科	
	常葉学園短期大学	美術デザイン科	
	大北北海道女子短期大学	工芸美術科	
	武蔵野美術短期大学	デザイン科	
	札幌大谷短期大学	美術科	
	郡山女子大学	生活美術科	
	短期大学部	デザイン科	
	桐丘短期大学	生活デザイン科	
	杉野女子短期大学	生活芸術科	
	短文化女子短期大学	生活造形科	
	短相模女子短期大学	家政科	生活造形科
	短稲沢女子短期大学	デザイン美術科	
	大安女子短期大学	造形芸術科	
	浪速短期大学	デザイン美術科	
	比治山女子短期大学	美術科	
	山口芸術短期大学		
	大愛知女子短期大学	服装学科	生活デザイン専攻
	金城短期大学	美術科	
	仁愛女子短期大学	家政学科	生活科学専攻
	大奈良芸術短期大学	美術科	建築インテリア } コース
	大東京家政大学	服飾美術科	美術コース
	大武庫川女子短期大学	被服科	
	大共栄学園短期大学	生活科学科	住居学専攻
	江南女子短期大学	"	生活科学専攻
	大國女子短期大学	家政科	デザインコース
	大三島学園女子短期大学	"	"
	短戸山女子短期大学	芸術科	"
	香川短期大学	家政学科	生活デザインコース
公立			

専修学校・職業訓練大学校・各種学校

	学 校 名	科 名
専修学校	芦屋芸術学院	デザイン造形学科
	東京YMCAデザイン研究所	インテリア造形科
	創造社デザイン専門学校	デザイン芸術系
	"	デザイン工科系
	東洋美術学校	短期デザイン科
	長野美術専門学校	造 形 科
	東京デザイン専門学校	デザイン専門課程
	日本デザイナー学院	"
	インテリアセンタースクール	インテリアデザイン専門課程
	"	"
	"	夜間部・通信教育部
	多摩芸術学園	デザイン学科
	阿佐ヶ谷美術専門学校	デザイン科
	中国デザイン専門学校	造形専門課程
	千代田工科芸術専門学校	デザイン写真専門課程
	東北工科美術専門学校	建築デザイン学科
	北海道総合美術専門学校	商業環境デザイン学科
	"	"
	御茶ノ水美術専門学校	デザイン科
	桑沢デザイン研究所	第1部リビングデザイン科
大学	"	第2部デザイン科(夜)
	日本デザイン専門学校	デザイン専門課程
	日本工学院専門学校	デザイン科
	フカイモダンデザイン専門学校	専 門 課 程
	金沢美術専門学校	専 門 課 程
	東京工科専門学校	インテリア科
	東京工学院芸術専門学校	芸術専門課程
	文 化 学 院	専門課程建築科
	町田デザイン専門学校	本科デザイン専門課程
	山脇美術専門学校	リビングアート科
	宇都宮デザイン専門学校	インテリア・建築科
	仙台デザイン専門学校	インテリアデザイン科
	山形デザイン専門学校	"
	北海道造形デザイン専門学校	本 科
	"	夜 間
	北海道デザイナー専門学校	本 科
	新潟デザイン専門学校	文化教養専門課程
	富山美術工芸専門学校	専 門 課 程

	学 校 名	科 名
専修学校	名古屋デザイン専門学校 インターナショナル 美術専門学校	インテリアデザイン科 美術科(7専攻)
	"	美術専攻科(7専攻)
	大阪総合デザイン専門学校	デザイン専門課程
	"	別 科
	大阪デザイナー専門学校	デザイン専門課程(昼)
	"	" (夜)
	大阪美術専門学校	デザイン学科
	中ノ島美術学院	美術専門課程造形本科
	名古屋総合デザイン専門学校	インテリアデザイン科
	中央工学校	建築室内設計科
各種学校	千代田工科芸術専門学校	建 築 科
	東京デザイナー学院	インテリアデザイン科
	東京モード学園	インテリアデザイン学部
	職業訓練大学校	木材加工科
	育英工業高等専門学校	
	インテリアコーディネータースクール	専攻科Aコース
	"	" B "
	"	基 礎 科
	"	研 究 科
	東京デザインスクール	本 科(昼夜)
大学	"	専攻科(昼夜)
	加デザインスクール	本科 インテリアデザイン科
	レイデザイン研究所	専門コース(週1)

地方事業支部の会員、特に学校関係の方には、今後ともご意見、ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

インテリア設計関係資格(仮称インテリアプランナー)の官報告示出る —資格制度対策委員会—

かねてより予想されていた官報告示が出ました。この告示は本文にあるように、審査・証明事業を希望する公益法人に対して事業の内容を規定したものです。

事業を行う公益法人が決定した場合、その公益法人をやはり官報告示するという順序を経て、資格試験等が実施されることになります。

建設省告示第14号

インテリア設計等に関する知識及び技能の審査・証明
事業認定規程を次のように定める。

昭和62年1月6日

建設大臣 天野 光晴

インテリア設計等に関する知識及び技能の

審査・証明事業認定規程

(目 的)

第1条 この規程は、建築物のインテリアの設計及び工事監理並びにこれらに付随する業務(以下「インテリア設計等」という。)に従事する者のインテリア設計等に関する知識及び技能の水準についての審査、証明等(以下「審査等」という。)を行う事業(以下「審査・証明事業」という。)の認定に関し必要な事項を定めることにより、インテリア設計等に関する知識及び技能の向上を図り、もって建築物のインテリアの質の向上に寄与することを目的とする。

(認 定)

第2条 建設大臣は、審査・証明事業であって、インテリア設計等に関する知識及び技能の向上を図る上で奨励すべきものを、この規程に定めるところにより認定することができる。

2 前項の規定による認定(以下「認定」という。)は、5年ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。

(認定の基準)

第3条 認定の基準は、次のとおりとする。

一 審査・証明事業を実施する者が、インテリア設計等に関する知識及び技能の向上を目的とする民法(明治29年法律第89号)第34条の規定により許可された法人(以下「公益法人」という。)であって、次に掲げる要件を満たすものであること。

イ、その役員構成が審査・証明事業の公正な運営に支障を及ぼすおそれがないものであること。

ロ、審査・証明事業以外の事業を併せて行っている場合には、当該事業を行うことによって審査・証明事業の運営が不公正になるおそれがないものであること。

ハ、審査・証明事業を的確かつ円滑に実施するため

に必要な財産的基礎及び事務的能力を有するものであること。

ニ、その他審査・証明事業を実施するにふさわしいものであること。

二 審査・証明事業が特定の企業又は事業のみを利用することとならないものであり、かつ、その実施に関し十分な社会的信用を得られる見込みを有するものであること。

三 審査等が全国的な規模において毎年1回以上実施されるものであること。

四 審査等の対象となる知識及び技能の範囲(以下「審査等の範囲」という。)並びに審査等の基準(以下「審査基準」という。)が明確かつ適切なものであること。

五 審査等に当たる者の選任の方法その他審査・証明事業の実施の方法が適切かつ公正なものであること。

六 合格者の登録並びにその知識及び技能の維持のための措置が適切に講じられているものであること。

(認定の申請)

第4条 認定を受けようとする公益法人は、その名称、代表者の氏名、住所及び認定を受けようとする審査・証明事業の名称を記載した認定申請書に次に掲げる書類を添えて、建設大臣に提出しなければならない。

一 定款又は寄附行為(以下「定款等」という。)

二 役員の名簿及び履歴書

三 申請の日の属する事業年度の直前の事業年度末における財産目録及び財産の権利関係を証する書類

四 申請の日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに当該事業年度の翌事業年度から申請の日から起算して5年を経過した日の属する事業年度までの各事業年度の事業の実施及び収支に係る計画を記載した書類

五 審査等の範囲及び審査基準を記載した書類

六 審査・証明事業の実施要領

七 審査・証明事業に関する事務組織を記載した書類

八 その他参考となる事項を記載した書類

2 前号第4号に掲げる書類は、審査・証明事業に係る事項と他の事業に係る事項とを区分して記載したものでなければならない。

3 第1項第6号に掲げる実施要領は、次に掲げる事項を記載したものでなければならない。

一 審査等の実施の回数、時期及び場所に関する事項

- 二 審査等を受けようとする者の資格に関する事項
- 三 審査等に当たる者の選任に関する事項
- 四 試験問題の作成及び合格者の判定に関する事項
- 五 合格者の登録及び証明に関する事項
- 六 合格者に称号を付与する場合においては、その名称その他称号の付与に関する事項
- 七 合格者の知識及び技能の維持のための措置に関する事項
- 八 審査等の手数料に関する事項
- 九 その他必要な事項

(建設大臣の認定を受けた旨の表示)

第5条 認定を受けた審査・証明事業を実施する公益法人(以下「認定法人」という。)は、認定を受けた審査・証明事業を実施するときは、認定を受けたものであることを明示するものとする。

(変更の承認等)

第6条 認定法人は、審査・証明事業の名称、審査等の範囲、審査基準又は審査・証明事業の実施要領を変更しようとするときは、その変更の内容、時期及び理由を記載した変更承認申請書を建設大臣に提出して、その承認を受けなければならない。

2 認定法人は、その名称、住所、定款等、役員又は審査・証明事業に関する事務組織を変更したときは、2週間以内に、その変更の内容及び時期を記載した変更届出書を建設大臣に提出しなければならない。

(事業計画書等の提出)

第7条 認定法人は、毎事業年度開始前に、当該事業年度の事業計画書及び収支予算書を建設大臣に提出しなければならない。

2 第4条第2項の規定は前項の事業計画書及び収支予算書に準用する。

(事業報告書等の提出)

第8条 認定法人は、毎事業年度終了後3月以内に、次に掲げる書類を建設大臣に提出しなければならない。

- 一 当該事業年度の事業報告書及び収支決算書
- 二 当該事業年度末における財産目録及び財産の権利関係を証する書類

2 第4条第2項の規定は前項第1号に掲げる書類に準用する。

(資料の提出)

第9条 認定法人は、審査・証明事業の実施に関し建設

大臣から必要な資料の提出を求められたときは、当該資料を提出しなければならない。

(廃止の届出)

第10条 認定法人は、認定を受けた審査・証明事業を廃止したときは、遅滞なく、その廃止の時期及び理由を記載した廃止届出書を建設大臣に提出しなければならない。

(認定の取消し)

第11条 建設大臣は、認定法人が次の各号の1に該当するときは、認定を取り消すことができる。

一 第3条に規定する認定の基準に適合しなくなったとき。

二 第6条第1項の規定により建設大臣の承認を受けなければならない場合において、その承認を受けなかったとき。

三 第6条第2項、第7条第1項、第8条第1項、第9条又は前条の規定により提出をしなければならない場合において、その提出を怠ったとき。

(認定等の告示)

第12条 建設大臣は、認定をしたときは、認定法人の名称及び住所並びに当該認定法人が実施する審査・証明事業の名称その他必要な事項を官報で告示する。これらの事項の変更について第6条第1項の規定により承認をし、又は同条第2項の規定により変更届出書を受理したときも、同様とする。

2 建設大臣は、第10条の規定により廃止届出書を受理したとき又は前条の規定により認定を取り消したときは、その旨を官報で告示する。

附 則

この規程は、昭和62年1月6日から施行する。

会員の消息

◇ 木 村 戦太郎

此度、下記に自宅を建て、事務所を併設しました。又、事務所の名称も罹災以来の気分一新を図り変更しましたので、アドレスの修正をお願いします。駅から歩いて10分程の所です。お気軽にお立寄り下さい。(関東)

キムラデザインルーム 木村戦太郎

(旧) 木村戦太郎デザイン室

〒157 世田谷区給田2-5-18-3D

TEL 03-308-6445

(新) キムラデザインルーム

〒145 大田区田園調布4-44-17

TEL 03-722-6406

自宅 - 5356

◇ (株)天童木工

このたび、ダイヤル・インになりました。JID担当の私のダイヤル・イン番号は03-432-0409です。ご用の際はこの番号にお掛け下さい。

商品開発課 桜井 久喜

東京支店 〒105 東京都港区浜松町1-19-2

◇ 岩 谷 雅 史

2月1日より下記のとおり事務所を移転いたしました。在来にもまして、いっそうのお引立てのほど、お願い申し上げます。(関西)

C U B I C . S . I

CUBIC SPACE INTERNATIONAL

キュービック・スペース・インターナショナル

〒770 徳島県徳島市東大工町2-10

TEL 0886-25-8351

FAX 0886-54-6280

◇ 長 大 作

このたび(今年2月から)、設計室を祖師谷から下記に移しましたのでよろしく御願います。(関東)

1987年2月

〒156 世田谷区桜上水4-1-8-304

長大作建築設計室 長 大作

TEL 303-2655

◇ 長 岡 貞 夫

青山の第2スタジオがビル建設の為、業務を下記住所の第1スタジオ(吉祥寺)で行いますのでお知らせいたします。(2月16日より)(関東)

長岡貞夫デザイン事務所

〒180 武蔵野市吉祥寺南町3-25-11

TEL 0422-43-2360

◇ (株)ダンインテリア

旧冬12月、当社の住所が下記のように変更になりました。お手数ながらお手元のリストの修正をお願い申し上げます。尚、電話番号の変更はございません。

新住所 東京都渋谷区代々木2-12-1 (〒151)

記録映画社ビル

TEL 03-370-2228 (代)

※JID会員名簿は、260ページです。

◇ 川 崎 浩

ご紹介を戴きました川崎でございます。乾杯の音頭というのは一番年長の人の役割と聞いています。

本日は、私よりずっと先輩の方もたくさんおみえでございますが、ふつつかですがさせて戴きます。

来年は創立30年でございます。皆さんの今のお年から30を引いた年が協会の生まれた年でございます。その年の事を思い出していただいて、今年1年どうぞお元気で来年をお迎え下さいますよう。

それではご参会の皆様方のご健康と私共の協会のますますの発展を祈念いたしまして。乾杯。(関西)

計報

◇ 故 竹 内 篤 様

かねて病氣療養中の、竹内篤様が、薬石効なく、去る1月31日午前1時永眠された。享年59歳であった。

翌2月1日の告別式(東京都品川区桐ヶ谷葬祭場)は、泉修二葬儀委員長でしめやかに執り行われた。JIDからも渡辺優理事長、川上信二副理事長をはじめ役員、事務局長を含む多数会員が列席弔意を表した。故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。合掌。

賛助会員ニュース

◇ (株)トミタ

平素は格別のお引立てをたまわり厚く御礼申し上げます。このたび株式会社トミタでは、62年2月より「トゥエン」、62年4月より「セテセント」の2つの無地紙壁紙コレクションを新発売致します。

「トゥエン」は、確かな品質、施工しやすさで定評のある、西ドイツマルブルグ社の工場で作したトミタオ

リジナル壁紙です。紙素材のもつ柔らかさを生かしたエンボス加工に20色のペールトーンのナチュラルカラーは、フレッシュでやすらぎのある空間を演出致します。

イタリア、パラティボレラ社の「セテセント」は、イタリアらしくモダンで洗練された大人の感覚。18世紀にイタリアで使われた石壁のイメージを現代感覚のインテリア素材に生かすべくデザインされた「セテセント」は、石や木など本物の素材にマッチする紙壁紙です。ソフトなパステルカラーを中心にビビットカラーも加わって全18色。

両コレクションとも円高により茅 800 / m²という今迄には考えられなかったお求めやすい価格で提供させていただきます。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社 トミタ

東京都中央区京橋 2-3-16

TEL 03-273-7551

担当 営業開発部 富田 順三

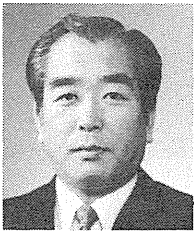
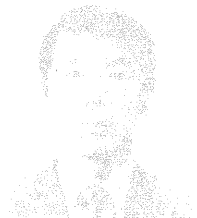
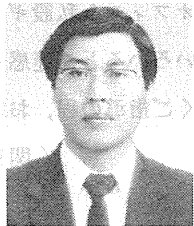
商品企画部 宮城佐代子

新入会員の紹介

●新入会員

正 会 員

会員名及番号		住 所 及 電 話
まし だ てつじろう 岸 田 哲二郎 (会員番号 612) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	OFFICE KID 山口県防府市国衛 3-4-34 〒747 0835-21-4148 山口県防府市お茶屋町 8-26 上 田 幸 正 ・ 渡 辺 優
なら さき ゆう し 梶 崎 雄 之 (会員番号 613) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	学校法人 中央工学校 建築室内設計科 東京都北区王子本町 1-26-17 〒114 03-906-1211 (代) 03-906-5551 (直) 東京都北区西ヶ原 2-38-12 〒114 03-910-8543 勝 瀬 壮 一 ・ 諸 富 幸 成
かじ た ひさ のり 梶 田 尚 令 (会員番号 614) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(社)文教区施設協会 RIEF 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 〒103 03-669-6531 神奈川県伊勢原市東富岡 983 〒259-11 0463-94-1254 渡 辺 優 ・ 秋 山 修 治

こす げ すみ お 小 菅 澄 男 (会員番号 615) 	<勤務先・事務所> (株) 原好輝デザイン事務所 東京都渋谷区神宮前 2-21-15 〒150 03-402-3930 <自 宅> 神奈川県横浜市緑区榎が丘 45-15 〒227 045-981-5913 <推 薦 者> 原 好 輝 ・ 山 品 元 
まつ だ やす お 松 田 康 夫 (会員番号 616) 	<勤務先・事務所> Mインテリアデザイン 福井県福井市開発 1-418 滝沢マンション 106号 〒910 0776-53-7466 <自 宅> 同 上 <推 薦 者> 栃 谷 賢 一 ・ 宇 賀 敏 夫 
みや じま え み こ 宮 嶋 恵 美 子 (会員番号 617) 	<勤務先・事務所> 西武百貨店池袋家具部スタジオカーサ 東京都豊島区南池袋 1-28-1 〒171 03-981-0111 (大代) <自 宅> 東京都文京区関口 1-1-5-803 〒112 03-260-8727 <推 薦 者> 渡 辺 力 ・ 山 品 元
いし なか のり ふみ 石 中 法 文 (会員番号 618) 	<勤務先・事務所> 長崎船舶装備(株) 長崎県長崎市西琴平町 1 番 5 号 〒850 0958-24-4411 (内228) <自 宅> 長崎県西彼杵郡三和町蚊焼 2422-16 〒851-04 0958-92-2343 <推 薦 者> 小 川 欣 一 ・ 藤 尾 栄 徳
なか がわ ち はや 中 川 千 早 (会員番号 619) 	<勤務先・事務所> フォンス(有) 東京都世田谷区粕谷 3-24-23 〒157 03-307-7392 <自 宅> 同 上 <推 薦 者> 渡 辺 優 ・ 大 野 美 代 子

なが さわ のり こ 長 澤 法 子 (会員番号 620) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	6050 Boulevard East West New York, Newjersey U. S. A. 〒07093 201-447-5554 東京都中野区江古田 2-1-18 〒165 03-388-9171 渡 辺 優 ・ 大 野 美代子
きく ち たか お 菊 地 隆 夫 (会員番号 621) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	菊地デザイン事務所 埼玉県鴻巣市雷電 1-3-31 〒365 0485-41-2660 同 上 泉 修 二 ・ 渡 辺 輝 男

会員の消息（追加）

◇ 金 子 誠之助

立春の候 皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて私ことこのたび1月末日をもちまして株式会社高島屋事業本部設計室を定年退職いたしました。

顧みますと高島屋に入社以来38年の永い間大過なく勤務できましたのもひとえに皆様方の温いご指導、ご厚情の賜ものと厚くお礼申し上げます。

今後は今までの経験を生かし、大学の講師として若い人に交り一緒に勉強してまいりたいと思っています。何卒相変わりがませずご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

〒591 堺市引野町 2 丁 28-4

TEL 0722-85-5591

◇ 佐久間 克 己

日頃よりお世話になり御礼申し上げます。

この度、突然ではございますが、念願の私設ギャラリー開設にともない2月20日をもちまして事務所を移転する事となりました。3月中旬に新オフィス&私設ギャラリーがオープン致します。その間いろいろとご迷惑をおかけすると存じますが、何卒宜しくご指導の程、お願い申し上げます。

（関東）

グリーン・ピース株式会社

代表取締役 佐久間 克 己

新事務所住所

〒153 東京都目黒区大橋 1-7-4

久保ビル 1 F

TEL 780-4077

●新入会員

賛助会員

会 員 名		住 所 , 電 話 及 ご 担 当 者
ボディソニック㈱	住 所	〒107 東京都港区南青山1-1-1 電話 03-475-1815
	担 当 者	営業部 営業課長 喜 田 圭一郎
	紹 介 者	佐久間 克 己

●会員の異動

正 会 員

会 員 名	異 動 事 項	新
福 田 武 (関 西 P 171)	事 務 所	〒562 大阪府箕面市船場3-3-11カーサビル 電話 0727-28-8090 (代) FAX 0727-28-8074 千里生活研究室 0727-28-8095 こんせるぶ編集室 0727-28-8097 C A S A 千 里 0727-28-8093
木 村 戦太郎 (関 東 P 66)	事 務 所	キムラデザインルーム 〒145 大田区田園調布4-44-17 電話 事務所 03-722-6406 自 宅 03-722-5356
兎 本 進 (関 西 P 152)	部 署	収納事業部 電話 06-675-2391
内 田 正 雄 (関 東 P 49)	勤 務 先 変 更	澁澤開発株式会社(シブサワインテリア) 〒103 中央区日本橋茅場町1-13-16 電話 03-660-4151, 4142~4
村 上 保 (関 東 P 119)	自 宅	〒110 東京都台東区下谷3-18-4-303
千 年 小 枝子 (関 東 P 93)	自 宅	〒194 町田市中町1-5-3 メゾン町田301 電話 0427-27-2540
金 子 誠之助 (関 西 P 157)	勤 務 先	退 社

岩 谷 雅 史 (関 西 P 151)	事 務 所	〒 770 徳島市東大工町 2 - 10 電話 0886 - 25 - 8351 FAX 0886 - 54 - 6280
長 嶋 千江子 (関 東 P 99)	自 宅 住 所 訂 正	〒 168 杉並区上高井戸 3 - 2 - 20 - 204
菅 原 培 夫 (関 東 P 82)	事 務 所	〒 151 渋谷区代々木 2 - 41 - 1 代々木ニューハイツ 317 号
佐久間 克 己 (関 東 P 76)	事 務 所	〒 153 目黒区大橋 1 - 7 - 4 久保ビル 1 F 電話 03-780-4077

準 会 員

馬 場 敏 (関 東 P 229)	事 務 所 自 宅	スタジオ ナトア 〒 151 渋谷区千駄谷 3 - 3 - 16 - 801 電話 03-402-8444 同 上
------------------------	------------------	--

賛助会員

(株) 商 園 (P 254)	担当者直通電話	03-505-4631
(株)ダンインテリア (P 260)	住 所	〒 151 渋谷区代々木 2 - 12 - 1 記録映画社ビル 電話 03-370-2228 (代)
長谷虎紡績(株) (P 266)	担 当 者	商品開発部 部長 梶 田 隆 男
ヤマギワ(株) (P 272)	担 当 者	照明事業部 田 代 すみ子
(株)天童木工	担 当 者 電 話	ダイヤルイン 03-432-0409

委員会開催

〔 1 月 〕 8 日 I F I 会員作品集出版特別委員会
 12 日 広報委員会
 12 日 総務委員会
 20 日 I F I 会員作品集出版特別委員会
 21 日 事業委員会
 21 日 総務委員会
 21 日 事業委員会, 総務委員会, 合同委員会
 22 日 渉外委員会
 26 日 教育委員会
 28 日 61・第 5 回理事会

〔 2 月 〕 8 日 I F I 会員作品集出版特別委員会
 10 日 広報委員会
 18 日 総務委員会
 20 日 出版特別委員会
 20 日 国際委員会
 23 日 広報委員会
 27 日 関東事業支部委員会
 〔 3 月 〕 3 日 渉外委員会
 6 日 61 年臨時理事会

会議・会合出席

〔 1 月 〕 23 日 世界デザイン会議説明会
 出席者 大 野 美代子
 山 品 元
 〔 2 月 〕 4 日 I F F T '87 披露レセプション
 出席者 中 村 圭 介
 17 日 61 年度東京デザイン開発指導連絡
 協議会
 出席者 古 藤 司 郎
 金 子 浩 子
 18 日 31 回インテリア産業理事会
 出席者 渡 辺 優

23 日 61 年度中国・四国ブロックデザイン
 ン開発指導連絡協議会
 出席者 栢 原 秀 榮
 沖 本 弘 至
 23 日 国際デザイン・コンペティション
 審査員歓迎レセプション
 出席者 樋 口 治
 25 日 第 5 回情報交流会
 榎 田 均
 木 村 戦太郎
 25 日 61 年度福岡ブロックデザイン開発
 指導連絡協議会
 幸 重 篤 典
 中 村 忠 司

(敬称略)

寄贈図書（・印寄贈者）

	書（誌）名	月 日	備 考
・多 摩 美 術 大 学	多摩美術大学 50 年 史	61 12・24	
・東京室内装飾事業協同組合	61 年度組 合 員 名 簿	12・25	
・日本ディスプレイデザイン協会	dda 会 員 名 簿	12・25	
・中 部 デ ザ イ ン 協 会	会 員 名 簿	62 1・6	
・オ ス ラ ム 株 式 会 社	Licht im Park Licht im Garten	1・16	
・株式会社 産 業 調 査 会	ライティングデザイン事典	1・20	
・日本建築家協会関東支部	会 員 名 簿 '86	1・20	
・全 国 銘 木 青 年 連 合 会	銘 木 資 料 集 成	1・22	

事務局短信

- ① 1987年になってから早くも2月が過ぎようとしています。1月28日は理事会と同日に、恒例の新春交礼会が開かれ、来賓をはじめ、関東以外の支部からも多数の会員出席があり、大変な盛況でした。企画・実行に当たった総務委員会の方々のご苦勞をねぎらいたいものです。
- ② 当日は賛助会員各社から、アトラクションにご協力ということで、豪華景品がびっくりする位集まりました。まことにありがとうございました。参会者の方々、今年のツキはいかがでしたか？
- ③ 本年も、会員各位より沢山の年賀のご挨拶が事務局に寄せられました。一つ一つご返事差し上げることができず、遅ればせながら誌上よりお詫びと御礼を申し上げます。
- ④ 年末には喪中のご挨拶もかなりありました。業務多忙の折今年は健康にもご留意下さいますように。

- ⑤ 協会草創期より力を尽された竹内篤氏（関東）が永眠された。昨年5月の通常総会の議長をつとめられたのが、昨日のことのようです。ご冥福をお祈りするよりほか、生前のご遺徳に報いるすべを知りません。
- ⑥ 野口記念賞公募中です。ポスター（公募要項）残部あり。どうぞ専門学校関連の会員の方、PRの程よろしく願い申し上げます。ポスターご請求下さい。
- ⑦ 正会員、準会員の方々で、一部過年度会費が未納のままになっている会員が若干います。会員規定の改正に伴ない、権利停止期間が短縮されました。期末を迎えていますので、大至急納入下さるようお願いいたします。
- ⑧ 頒布物のPR（カッコ内価格は会員特価）
- ☑「官公庁オフィスインテリア」¥3,000 送料 300円
（¥2,400送料共）
- ☑「日本のインテリアデザイン」—しっらいの創造
¥14,600送料共（¥13,000送料共）
- ☑「新会員名簿」¥6,000送料共（¥3,000送料共）
（事務局）

JID賛助会員ディレクトリー（抜粋）

村 上 敷 物 (株) 大阪府堺市原山台 5-17-7 〒 590-1 (0722) 97-0161 今辻勝利（製造部部長）	モ ビ リ ア (株) 東京都港区麻布台 2-3-5 〒 106 (03) 582-3341 中島基之（専務取締役営業担当）
(株) ヤ シ マ 製 作 所 東京都中野区弥生町 1-53-7 〒 164 (03) 372-1211 白川竣一郎（代表取締役）	ヤ マ ギ ワ (株) 東京都千代田区外神田 4-1-1 〒 101 (03) 253-2111 (代) 田代すみ子（照明開発部専門課長）
山 田 照 明 (株) 東京都千代田区外神田 3-16-12 〒 101 (03) 253-5151 青木 章（マーケティング室室長）	(株) ユ ニ オ ン 大阪市西区南堀江 2-13-22 〒 550-91 (06) 532-3731 (代) 立野純三（取締役副社長）
(株) リ バ コ 東京都港区西新橋 2-6-1 〒 105 (03) 503-5301 (代) 伊原 悟（企画開発室室長）	ア イ カ 工 業 (株) 名古屋市中区丸の内 2-20-19 〒 460 名古屋東京海上ビル20F (052) 202-6911 大津 宏（商品管理部部長）
(株) 青 島 商 店 東京都港区愛宕 1-7-8 〒 105 (03) 431-4933・432-2032 青島賢治（専務取締役）	(株) アルフレックスジャパン 東京都渋谷区東 2-9-8 〒 150 (03) 406-8755 三瓶敏行（取締役事業本部長）
(株) イ ト ー キ 東京都中央区銀座 1-8-19 〒 104 (03) 566-5211 伊藤幹雄（社長室開発第1グループ係長）	(株) イ ナ ソ クス I N A X 愛知県常滑市江本町 3-6 〒 479 (05693) 家坂 隆（デザイン部部長） 5-2700 (代) 和田高明（デザイン第1課長）
イ ビ デ ン (株) 大垣市神田町 2-1 〒 503 (0584) 81-3111 (代) 平川俊雄（建材営業部部長）	インテリア コーディネーター アソシエーション 愛知県名古屋市中川区山王 1-2-30 〒 454 東洋プライウッドインテリアピア内 (052) 331-5235 早川昌直（事務局長）
(株) インテリアセンター 旭川市永山町 6 〒 079 (0166) 47-1188 長原 実（代表取締役社長）	(株) 内 田 洋 行 研究所 神奈川県鎌倉市上町屋 809 〒 247 (0467) 44-6171 近藤明夫（研究所所長） 岩崎正之（開発担当課長）

(株) 岡村製作所 東京都千代田区永田町2-14-2 〒100 山王グランドビル (03) 593-5653 安藤 孚 (インタストリアルデザイン部管理担当)	オスラム (株) 東京都港区虎ノ門3-10-11 〒105 虎の門MFビル10号館5F (03) 432-6411 大澤隆康 (営業部係長)
鹿島建設 (株) 建築設計本部 インテリアデザイン部 〒163 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル27F (03) 344-2111 (代) 鈴木高道 (インテリアデザイン部長)	(株) カワキチ 東京都新宿区西新宿7-5-20 〒160 営業開発部 (03) 366-7865 中村 忠 (営業開発部ショールーム)
(株) 川島織物 インテリア東京営業本部 東京都千代田区永田町2-14 〒100 山王グランドビル5F (03) 580-4511 衣川雄二 (販売企画課副部長)	共同通信工業 (株) 東京都千代田区内神田2-16-13 〒101 神田ビル (03) 254-1261 栗真宜雄 (代表取締役)
(株) くろがね工作所 東京都港区芝5-29-20 (三田ビル) 〒108 (03) 455-4311 米山俊行 (オフィス創造研究所主任)	コクヨ (株) 意匠設計部 大阪市東成区大今里南6-1-1 〒537 (06) 976-1221 清家淳一 (意匠設計部意匠設計課課長)
コクヨ (株) 東京意匠設計部 東京都港区港南1-8-35 〒108 (03) 450-5111 田中兵衛 (東京意匠設計部意匠設計課長)	(株) コスガ 東京都中央区東日本橋2-15-4 〒103 (03) 862-6711 亀井恒男 (コスガデザイン部) (03) 893-1186
(株) コトブキ 東京都千代田区有楽町1-2-12 〒100 (03) 591-1311 (大代) (0422) 52-2111 岡 建彦 (武蔵野事業部開発室)	サン・カーペット (株) 大阪府堺市土師町1714 〒593 (0722) 79-1222 田中正彦 (企画開発部課長)

JID NEWS

1987 / 1・2

頒価 300 円 (送料共)

昭和62年2月25日発行 (日本インテリアデザイナー協会月報1987年通巻第144号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

印刷所・(社) コロニー印刷

振替・東京 8-76389